

■ 現場の事故事例等から建設工事の安全対策について学びました。



建設工事の安全管理について、関係する法令や繰り返し発生している労働災害及びそれに対する対策手法等を学び、災害ゼロの安全な職場（現場）づくりについて考えました。

- 1 日時 令和5年9月27日（水）13：30～16：30
- 2 場所 長良川国際会議場 4階 大会議室
(岐阜市長良福光2695-2)
- 3 対象者 ・ 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員（技術者(現場代理人)、若手技術者、技能者)
・ 岐阜県で建設業に従事する個人事業主（いわゆる一人親方）
- 4 参加者 25社 46名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
13:00～	(受付)	
13:30 ～14:20	建設工事における労働安全について 1) 労働災害の現況と労働安全衛生法	厚生労働省 岐阜労働局 健康安全課 地方産業安全専門官 加賀 勝仁 氏
	(途中休憩)	
14:30 ～16:30	「建設工事(設計・施工前を含む)の安全方策」について ～「危険ゼロの安全で健康な職場づくりをめざして」～ 1) 建設業における災害の特徴と問題点(事例紹介) 2) 災害原因とヒューマンエラーと安全活動 ※持ち込み機械の点検整備と整理整頓の重要性 3) 労働安全衛生法による注意すべきポイント 第14次災害防止計画の概要等 4) 最近の建設業における改正法令等	(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 岐阜支部 岐阜支部長 中尾 守孝 氏
16:30	閉講(アンケート記入後)	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター ((公財)岐阜県建設研究センター内)
- 7 CPDS 3ユニット (認定講習)
- 8 受講者の感想

- ・ 現時点での安全に関する用語や情報を知ることができ大変参考になった。
- ・ 身近な事故事例サンプルは興味深い内容であった。
- ・ 法改正が分かって良かった。
- ・ 労働災害において 墜落災害が多い (30%) 件、改めて確認できた。

以上